

水害から身を守る防災

出前講座

みなさんの学校へうかがいます



■羽越水害から50年

置賜地方を中心に甚大な被害をもたらした昭和42年「羽越水害」から今年で50年の節目を迎えます。これを契機とし、羽越水害とその後の防災を振り返り、現在直面している災害危機管理対応について流域の人々と考える取組「羽越水害50年行事」を実施しています。

その取組のひとつとして出前講座を行っています。羽越水害や近年多発する豪雨災害について学び、また、楽しく学べる「**体験型学習**」を通して、水害に備える知識と理解、そして防災意識を高めます。



■スライドやビデオを使った学習

出前講座では、スライドやビデオなどを使い水害や防災についての学習を行います。



いきなりに流さない「ダム」の役割

ダムを作った場合



流れ込んだ水をダムでためることで川にいきなりに流さず、洪水が起きないようにします。

スライド

羽越水害や近年の豪雨災害についてどのような水害だったのか、また、ダムや堤防など水害を防ぐ施設について、水害の際、逃げるために知っておくべき事などをスライドやビデオを使い、理解を深めます。

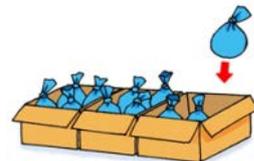
■体験型学習「雨の重さを体験」

天気予報で聞く「時間30mmの雨」、量1枚の量をペットボトルで表現しました。



■体験型学習「水土のう作り」

家庭にある身近なもので浸水を防ぐことができる「水土のう」作りを体験してみます。



ゴミ袋に水をため、段ボールに入れることで土のうと同様の役割を果たします。

■児童たちの声

- ・羽越水害は大変な被害だった、命の大切さを感じた。
- ・たった3センチの雨でも大変な量だと思った。
- ・洪水ハザードマップを確認し、水害から自分の命を守りたい。

お問合せ先

国土交通省 山形河川国道事務所 調査第一課 佐藤

TEL : 023 - 688 - 8933

※ 授業時間についてはご相談に応じます。

忘れない、水害への備え
～羽越水害50年～